

二〇一八年 一月

## 「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

### 今月の言葉

戦いで百万の敵に勝つよりも ひとりの自己に克つひとが まことの最上の勝利者よ。

『ダンマパダ』

日常生活において、勉強やクラブ活動などで自分との戦いを試される場面はたくさんあると思います。そのなかで、つい人と比べて優越感や劣等感を感じて、喜んだり悩んだりすることがあるように思います。

しかし、本当に大切なことは、「自分自身に克つ」ことなのだと思えます。メジャーリーガーのイチロー選手も「人に勝つという価値観では野球をやっていない」と述べられています。もちろん、時として互いに高め合うことの出来る仲間の存在も必要だと思います。ですが、最後は自分との戦いに尽きると思います。つい誰かと比較しがちですが、まず自身が目標やすべきことにどれだけ一生懸命に取り組めたかを問うべきでしょう。最大のライバルは自分の外にあるのではなく、自分自身なのだと思えます。改めて教えられる言葉だと思えます。

### 今月の聖語

善き人々は 遠くにいても輝く 雪を頂く高山のように

『ダンマパダ』

釈尊が述べられるように、善き人は遠くにいても輝いているように思えます。ここでいう「善き人」とは仏教的な意味で、「真理に達した人」を指します。

この言葉を広く日常生活に置き換えて考えてみると、例えば「何事も一生懸命に取り組む人」、「友達、クラスの仲間を大切にする人」、「部活動の競技、種目において凄い技術を持っている人」などが「善き人」に当てはまるのではないのでしょうか。そして、それらの「善き人」は自分自身にとって、仮に学校やクラス、部活は違ったとしても、キラキラと輝いて見えるのではないのでしょうか。

人から良い刺激を受けて、一歩でも自分自身が思う「善き人」に近づいていくために、この言葉を日常の教訓にし、今年も精進していきましょう。